

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-269-3154

年度	令和4年度		
施設名	新潟市立坂井輪児童館	所管部・課	西区健康福祉課
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、及びその情操をゆたかにすることを目的として設置する。		

当初予算(千円)	当初人員(人)	作成日	2022.7.1
歳入	4 正職員	1	修正日
歳出	2,876 会計年度任用職員	3	評価日
			2023.7.25

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標					R4結果
1	市民	より多くの児童に遊びの場を提供する。	利用者数	9,916人	3,813人	3,808人	4,300人	4,468	・近隣小学校の新1年生への案内を新年度早々に行う・	・児童館のパンフレット、児童館利用のきまり他配布	安心、安全な遊びの場として児童館が認知され、乳児や年齢の低い幼児の利用が前年度比で2割近く増えた。	A:達成(優)
2	市民	多方面から関心と興味、参加意欲を持ってもらう。	広報	館だより月1回 区だより月1回 その他随時	館だより月1回 区だより月1回 その他随時	館だより月1回 区だより月1回 その他随時	館だより月1回 区だより月1回 その他随時	館だより月1回 区だより月2回 その他随時	イベント前はポスターを掲示したり、ホームページ、子育て応援アプリ等に内容を掲載する。	・館だより・区だより ・イベント前チラシ配布	館だよりや区だより、HP、西区の子育て応援LINE、イベント前チラシ配布などで児童館の情報を随時発信した成果として、利用者層が広がった。	B:達成
3	市民	利用者の満足度を高める。	苦情・要望への対応	0項目	アンケート回答 「良かった」以上 が100%	アンケート回答 「良かった」以上 が100%	アンケート回答 「良かった」以上 が100%	アンケート回答 「良かった」以上 が100%		・アンケートボックスの設置 ・講座参加者へのアンケートを実施	「幼稚園、保育園、認定こども園への入園を前にして」の講座では、幼稚園入園を考えている参加者1名にとっては情報が物足りなく、「普通」という評価だった。来年度はテーマをより明確にして要望に添えられるようにした	B:達成
4	業務	子育ての楽しさを啓発する。	子育て支援	89回	70回	80回	103回	103回	・「タッチファースト講座」を連続講座として新設した。 ・身体測定を新たに年間計画した。	・子育て講座・ベビーヨガ・リトミックタッチファースト等講師による行事 ・身体測定・プチタイム・みんなあつまれ	今年度新たに始めた「タッチファースト講座」は参加者にとっては大変満足度の高いものだった。ただ、夫婦共に受講できるのには限りがあるので次年度はもう少し間口を広げようと思う。	B:達成
5	業務	心身ともに健全な成長を促進する。	年長児童向け事業	13回	17回	19回	32回	32回	・昨年度新規に開拓した教室を今年度も継続した。・児童館職員が講師となっていた手芸教室を外部講師に依頼した。	マジック教室・母へのプレゼント作り・運動教室・夏休み工作教室・おたのしみ会(12月・3月)・手芸教室・チャレンジ工作(毎月2種類)	今年度は臨時休館する日もなく、予定していた行事が全て開催できた。マジック教室は講師の高齢化により、進行に支障をきたしたので、来年度は新たな内容の物を企画したい。	B:達成
6	業務	発達の遅れが見られる乳幼児に、親子遊びなどを通して発達を支援する	発達支援	39回	32回	32回	40回	40回		・療育教室「だっこ」	予定通り療育教室が開催された。利用者との信頼関係が構築され、個々に応じた継続的な対応ができた。	B:達成
7	業務	災害時、利用者の安全を確保する	避難訓練の実施	2回	2回	2回	2回	2回	・職員のみ1回、利用者参加1回	・地震避難訓練 ・消火訓練 ・通報訓練 等	消防署職員立ち合いの避難訓練では、「児童館職員の役割分担がきちんとできているので次回からは消防署職員が立ち会わなくても訓練はじゅうぶんできる」とアドバイスを受けた	B:達成
8	人材	様々な利用者の要望に応える。	職員研修の実施	9回	17回	3回	2回	1回	新型コロナ感染防止のため、参加者が限定されたりして、研修の機会が著しく少ない。	・各区健康福祉課主催の研修会 ・児童館合同研修・施設見学等	児童館合同研修・施設見学が今年度は開催されず、情報交換ができなかったのが残念だった。	C:未達成
9	人材	子どもの命を守るアドバイスができるように努める。	乳幼児の安全講習	2回	1回	0回	1回	1回	新型コロナの影響で昨年出来なかった、ひまわり隊に依頼をした。	・乳幼児に起こりやすい事故やケガの応急処置、AED使用法についての講座	AEDや心肺蘇生法の実習は参加者にとっても好評で、アンケートでも全員が「大変参考になった」と満足度が高かった。職員も一緒に学び、事故防止の意識が高まった。	B:達成
10												

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
	<p>・令和2年度から、新型コロナウイルス感染防止対策のため、利用時間や来館者数を制限し、消毒を徹底して行って、安心・安全な遊びの場を提供することに専念してきた3年間だった。今年度は新型コロナウイルス感染拡大による臨時休館もなく、3月にはマスク着用の考え方の見直しを示された。新年度には、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付け変更も示されているので、児童館としても、緩和の方向で考えていきたい。</p> <p>・利用者の年齢層が年々低下している。子育て支援の観点からも、現状のニーズに合わせた内容の講座や、行事の企画を考えていきたい。</p>